

奥山 おくやま 45歳 とよかず 市政刷新

税金の使い方を市民本位に改めます。

市長給与カット

元横手市議会議員・
全国若手市議会議員の会 23代会長

参加無料
申込不要

横手の未来を決める判断材料に

大雄地区

対話集会

～地域の課題をみんなで一緒に考える～

直接お会いして、日々の困りごとなど、ぜひ皆さまのお声を聴かせてください。たくさんのご参加お待ちしております。

8 / 30 (土) 14:00～

大雄地区交流センター
ふれあいホール

二刀流で。

前回の敗北により、改めて人の痛みを知りました。現場に戻り、専業農家として汗を流し、子育てのため家庭のため、最低賃金レベルで働く方々のご苦労を一緒になって肌で感じる中で、今の市政は、日々頑張っている市民一人ひとりに寄り添っているのだろうかという大きな疑問を持ちました。

このままでいいのだろうか…私たちのふるさととは大きな岐路に立たされています。緊迫する世界情勢、不安定さを増す国内政治と、止まらない少子高齢化・人口減少。先輩方のご努力に敬意を表しながら市町村合併20年の原点に立ち返り、もう一度地域の隅々に光を当てること。誠実に市民の声に耳を傾け、しがらみを乗り越え公平公正な市政運営を取り戻さなければなりません。

今こそ、市政刷新。豊富な人脈と政治経験の上に一番大切な「市民目線」が加わった私は、横手市の舵取り役と地域農業を担う経営者の二刀流で、これからも大切なふるさとを守り続けます。

奥山豊和

奥山豊和後援会事務所

〒013-0409 横手市大雄字東四津屋271

TEL 070-8542-3440

FAX 0182-52-3470

後援会の入会を
お待ちしております

詳細は公式HPをご覧ください。
お申し込みはお電話・ショート
メール・FAXでも結構です。

＼公式HPやブログ、各SNSにて活動内容発信中／



HP



ブログ

幅広い人脈、国と地方の実情をよく知る即戦力

国会で仕事をした政治経験、県との太いパイプに加え、市議会議員として培った全国各地の若手議員ネットワークを活かし、横手市を更に力強く前に進めます。

市政刷新

市民に寄り添い、誠実に皆さまの声に耳を傾け、しがらみを乗り越える公平公正な市政運営に努め、税金の使い方を市民本位に改めます。

わたしの約束／すぐに取り組みたいこと

01 県内最高額 市長給与4割カット

- ◆ 横手市長の給与は、秋田県知事や秋田市長を上回る県内最高額です。市民は物価高に苦しむ中、自治体規模を考慮しない異常な市長給与を4割程度カットします。月額30万円もの増加に根拠はあるの？現在の市長給与月額1,104,000円をこれまでの水準820,000円に戻し、更にカット。

03 市町村合併の原点に立ち返る「ハコモノ一辺倒」から脱却し、市民にお金を使う

- ◆ 「新市民会館建設計画」を白紙にします。場所・規模を含めて再検討し、既存施設のあり方を含め身の丈にあった文化ホール整備を進めます。
- ◆ 今後、大型施設の維持管理が重くのしかかる市の財政は大丈夫なのでしょうか？合併特例債を使い切り、見栄えのする大型公共施設整備に際限なく突き進む「ハコモノ一辺倒」では、財政破綻の危険性さえあります。市民福祉向上に資する、生活に寄り添った市民に予算を使う市民ファーストの財政運営に改めます。
- ◆ 地区交流センター・地域局の機能を強化し予算を重点配分することで、これまで疎かにされてきた施設の修繕、生活インフラ等の維持更新や、市民要望に応える当たり前の市政を取り戻します。
- ◆ 「公共温泉施設」については、地域を分断し市民の不信感を増大させる迷走の10年間でした。現在稼働中の施設については市が責任を持って、市直営で存続させます。

02 産業振興、県内一の複合農業産地を守る

- ◆ 県内一の農業産出額を誇る横手市ですが、高齢化・担い手不足は深刻で待ったなしの状況にあります。地域おこし協力隊や関係人口、ふるさと納税などありとあらゆる制度を活用しながら一人一役で農業従事者を増やし、産地を断固守り抜きます。
- ◆ 地域農業を守るため、核となる集落営農・農業法人化をサポートし、環境保全・雇用の受け皿となっている大規模法人への思い切った支援、小規模兼業農家が営農を継続できるようきめ細やかな支援を行います。
- ◆ 幅広い資格取得の助成による人材育成、労働力不足を補う生産力、競争力向上のための設備投資、事業承継を支援し、地元企業を全力応援します。

04 「人口減少」への挑戦

共に支え合い助け合う、住んでよし・訪れてよしのまちづくり

横手で、家族になろう

- ◆ 当地域において子どもからお年寄りまで住みやすいまちにしていけるためには、「雪対策」が欠かせません。除雪体制を強化し市民負担の軽減に努め、「共助」を応援することで災害に強く市民にやさしい安全安心のまちづくりを進めます。
- ◆ 県と連携した移住定住施策を推進しながら、空き家を含めた住宅の解体補助を手厚くすることで、横手で結婚子どもを育てる若い世帯を応援します。横手で、家族になろう。

おくやま とよかず
奥山 豊和

Profile

昭和55年3月8日生まれ
(45歳)／農業

あきたこまちなど水稻22haを作付け。地域農業を守るために、家族経営から法人化に向けて準備中。

趣味 地元産のお酒を嗜むこと、マンガ・アニメ

特技 農業用ドローン、草刈り

平成4年 阿気小学校 卒業
平成7年 大雄中学校 卒業
平成10年 大曲高校 卒業
平成14年 東北学院大学 卒業
平成14年 金田勝年参議院議員秘書(県南担当)
平成21年 金田勝年衆議院議員秘書(国会事務所勤務)
平成25年 3月に退職し、Uターン/10月～横手市議会議員(2期)
平成28年 全国若手市議会議員の会 東北ブロック代表
平成30年 全国若手市議会議員の会 会長
令和3年 市議辞職、横手市長選に立候補し次点

高校・大学では陸上競技部に所属。ハンマー投げで大曲高校3年時、県総体・東北大会1位、京都インターハイに出場。

